

第 8 回日中韓財務大臣会議共同メッセージ（ポイント）

[2008 年 5 月 4 日 スペイン・マドリード]

日本、中国、韓国の財務大臣は、2008 年 5 月 4 日、スペイン・マドリードにて第 8 回財務大臣会議を開催。現下のマクロ経済情勢、金融情勢、地域金融協力及びその他について意見交換。

日中韓の引き続き底堅い経済成長を歓迎。他方、世界経済のダウンサイドリスクが増すなか、世界的な景気減速を完全に免れることはできないとの見方で一致。我々は、潜在的なリスクを注意深く監視し、情報共有の強化、事務レベルでの会合拡大及び日中韓のマクロ経済・金融状況についての理解の深化を通じて、協力を推進していく必要を認識。

現在の国際金融市場の混乱は経済にとって主なりスクであり、域内における金融取引及び物・サービスの取引の双方の相互依存は強まっている。マクロ経済を担当する当局及び金融安定化を担当する関係当局間で議論を強化する必要を強く留意。我々は、この意味で日中韓の財務省、金融監督当局及び中央銀行が参加する会合をまず本年中に開催することの重要性を認識。

ASEAN+3 財務大臣プロセス下の地域金融協力の進展を議論・歓迎するとともに、日中韓の引き続き緊密な協力へのコミットメントを再確認。CMI のマルチ化の一層の前進を歓迎。CMI マルチ化のいくつかの基本的な要素について合意に達した。日中韓での議論をさらに緊密化することにより、CMI マルチ化のすべての事項について合意するべく、一層努力していくことに同意。

ASEAN+3 各国の債券市場の発展を目的として、アジア債券市場イニシアティブ（ABMI）を引き続き支援することに同意。ABMI が、各国の市場改革を促進し、ASEAN + 3 の政策面での協力を促進することによって、最近の域内債券市場の発展に貢献したと認識。アジア債券市場の一層の発展に向けて ABMI のもとでの取り組みについて一層協調を図っていくことに同意。

日中韓の協力とこの会議の成果に満足。日中韓財務大臣プロセスが、引き続き、強化された政策対話と協調のための効果的な手段としての役割を果たすとの見方で一致。